



10/15 Hirado City Photo News
介護職の若手人材育成を目的に



平戸市役所で、介護人材確保支援事業（キャリア形成推進事業）賞賜金の交付式が行われました。

この事業は、介護の現場における人材の確保・育成を図ることを目的に実施。25歳以下の方が介護職として市内事業所へ就職することなどを対象に、賞賜金を交付します。県内では初の取り組みです。

当日は、今年度初めてとなる対象者2人のうち1人に市長が賞賜金を交付し「今後、市の介護職の発展のために頑張ってください」と激励の言葉を述べました。

10/4 Hirado City Photo News
ベストを尽くして頑張る



平戸市総合運動公園で「第14回平戸市小学校陸上競技大会」が開催され、市内の15校から5・6年生約500人が参加し、100m・200m・800m・60mハードル・400mリレー・走り幅跳び・走り高跳び・ソフトボール投げの計8種目で熱戦が繰り広げられました。

児童たちは、この日に向けて練習してきた成果を発揮すべく、ベストを尽くして頑張っていました。また、会場では、学校の仲間や応援に駆け付けた家族が大きな声援を送っていました。

10/11 Hirado City Photo News
世界的指揮者に酔いしれる



世界文化遺産登録を記念し「西本智実&イルミナートフィル世界遺産登録記念コンサート」が平戸文化センター大ホールで開催されました。

世界的指揮者で、平戸名誉大使である西本さんは曾祖母が生月町の出身というルーツを持ちます。

コンサートでは、生月町壺部地区の「オラショ」と、「オラショ」の原曲である「グレリオ聖歌」を同時に合唱したほか、西本さんの指揮の下、重厚なオーケストラが披露されました。集まった皆さんは、至極の音色に酔いしれていました。



8/19 Hirado City Photo News
週3回のデイサービスが楽しみ



大川原町の藤村イトノさんが100歳のお誕生日を迎え、黒田市長が自宅を訪れ、花束と記念品を贈り長寿を祝いました。

イトノさんは、結婚後、農業をしながらお子さんを育て、85歳まで現役で働いていたそうです。

現在もとてもお元気で、着替えなど身の回りのことはご自分でされており、週3回のデイサービスを楽しみにしています。

お祝式では、多くのご家族の皆さんが出席し、とてもにぎやかな式になりました。

10/20 Hirado City Photo News
青空と笑顔で溢れた秋の祭事



平戸城下旧町地区一帯で、「第9回平戸くんち城下秋まつり」が開催されました。

市内の飲食店や団体など51店舗がくunch料理や自慢の逸品を出店。また、地元事業者だけでなく、姉妹都市や交流都市などによる特産品の販売なども行われました。

ステージイベントでは、地元の園児による太鼓やダンスの披露、プロのミュージシャンによるライブ、平戸神楽や田助ハイヤ節も行われ、2日間平戸の城下町は、たくさんの人でにぎわいました。

9/27 Hirado City Photo News
文化的な景観を未来に伝える



たびら活性化施設で「第13回全国文化的景観地区連絡協議会平戸大会」が開催されました。「様々な連携」をテーマに、全国の文化的景観保護に携わる行政や市民団体の担当者およそ100人が研修会や現地視察などに参加しました。

研修会では、地域づくりや観光の専門家から平戸市の事例を基にした話題提供があったほか、各地域で文化的景観の保全を担っている市民団体から事例報告がなされ、先進的な取り組みや各種課題について関係者で情報共有を図りました。

9/22 Hirado City Photo News
平戸城焼失の謎にせまる



平戸文化センターで「平戸城再築300周年記念フォーラム」が開催されました。

平戸城は、1599年に日の岳城として築城されましたが、1613年に焼失します。その後、幕府の厳しい一国一城令の中、松浦家は御館（現松浦史料博物館）で過ごしますが、1704年に念願の再築が許可され、1718年に完成します。

当日は、約150人の来場者が、焼失にまつわる謎や再築が許可される理由、平戸城の特徴などについて、講演する専門家の話に耳を傾けていました。